社会福祉法人による地域における公益的な取組事例集

VOL.3

岡山ささえ愛センター

（岡山県地域公益活動推進センター）

CONTENTS

はじめに　……1

事例❶　地域共生社会の実現に向けて！
（さくら福祉ネット宿場町やかげ）……2

事例❷　地域版親子ひろば「すくすく佐良山」
（津山市社会福祉施設連絡会／子育て応援サポート部会）……3

事例❸　ふれあい親子食堂（社会福祉法人藤花会）……4

事例❹　ふれあい講座（社会福祉法人報恩積善会）……5

事例❺　無償送迎付サロン「ここ楽！@こうじゅえん」
（社会福祉法人津山福祉会）……6

事例❻　地域食堂「Dining Minna」
（社会福祉法人雪舟福祉会）……8

事例❼　まちのじどう家ん上東商店
（社会福祉法人クムレ）……10

事例❽　地域の人とつながる「出前講座」
（社会福祉法人天神会）……12

市町村域の社会福祉法人ネットワークの紹介……14

岡山ささえ愛センターについて……16

はじめに

これからの社会福祉の基本理念として掲げられている「地域共生社会の実現」は、個人または世帯が抱える課題の複雑化・複合化といった社会の変化を踏まえ、制度・分野の枠や、「支える側」と「支えられる側」という従来の関係を超えて、「人と人」、「人と社会」がつながり、地域で暮らす人々が地域から孤立することなく、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、その人らしく暮らしていくことのできる「ともに生きる豊かな地域社会」を創っていくという考えです。

社会福祉法人においては、従来から地域の実情に応じた福祉サービスの更なる充実に向けて多様な取組が展開されてきましたが、これまで培ってきた福祉サービスに関する専門性や、地域の関係者とのネットワーク等を活かしながら、「地域における公益的な取組」の実践等を通じて、地域において主体的な役割を果たしていくことが一層、期待されています。

本事例集は、各法人やネットワークが自分たちの地域のために何ができるかを考え、住民や関係者ともに試行錯誤しながら取り組まれている実践事例を紹介するために、岡山県社会福祉協議会機関誌の取材としてお伺いした事例をまとめて作成したものです。

社会福祉法人の実践の参考として活用いただき、地域の実情に応じた創意工夫ある取組の創出につながっていくことを、願っております。

最後になりましたが、業務ご多忙のなか、本会取材にご協力いただきました社会福祉施設・事業所等の各関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、「地域における公益的な取組」の実践を通じた、本県における地域共生社会の実現に一層のご理解ご協力について、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和４年３月

社会福祉法人岡山県社会福祉協議会
岡山ささえ愛センター（岡山県地域公益活動推進センター）

地域共生社会の実現に向けて!

●社会福祉法人の公益的な取組レポート●

さくら福祉ネット 宿場町やかげ

矢掛町社会福祉法人連絡会　設立!

❖こどもの見守り活動実施中　地域の各種団体と共に、出来ることを生かして

▼社会福祉法人連絡会の設立について

去る２月26日に町内の高齢者・障がい者施設を経営する社会福祉法人と矢掛町社会福祉協議会（５法人）が中心となり同連絡会が設立されました。各法人施設・事業所では、これまでに「ゴミ屋敷清掃への協力」や「地域の高齢者への配食サービス」等、独自で貢献活動も実施されていましたが、地域共生社会の実現に向けて、もっと地域に貢献したいという思いから勉強会を重ね、アイデアを出し合うなかで「こども見守り活動」の実施に至りました。

▼こどもの見守り活動（登下校時の安全確保）
～学校、教育委員会、警察署等との連携

事業所の送迎車に「さくら福祉ネット　宿場町やかげ」のマグネットシートをつけ、町民、子どもたちにもわかりやすくして、日頃の送迎業務に併せて登下校時の見守りを行います。万一異変を発見した際には学校、教育委員会等関係機関へ早期に通報・連絡します。

「こども見守り中」マグネットシート、岡山県社協の地域公益活動助成金でつくりました。

連絡会の皆さん。あすなろ園、矢掛荘、ほほえみ矢掛、ワークハウス住倉・横谷、矢掛町社協

こども見守り活動出発式。マグネットシートを送迎車につけて子どもたちにわかりやすくしています。

❖制度の狭間で助けを求めている方のニーズに寄り添う

矢掛町社会福祉法人連絡会　事務局
矢掛町社会福祉協議会
事務局長　三宅　收 氏

連絡会設立により多様な専門性やノウハウ、資源を持つ福祉施設・事業所との顔の見えるつながりが出来たことが大きいです。今後、町内の他福祉施設にも加入を呼びかけていきます。

制度の狭間で助けを求めている方々のニーズを重要視し、行政や地域だけでは解決できない問題に取り組むのが社会福祉法人です。今後の連絡会に期待してください。

矢掛町社会福祉法人連絡会　代表
社会福祉法人　あすなろ園
施設長　岡本達也 氏

お問い合わせ
矢掛町社会福祉法人連絡会（さくら福祉ネット 宿場町やかげ）
▶事務局：矢掛町社会福祉協議会（矢掛町農村環境改善センター内）　☎ 0866（82）0848

地域共生社会の実現に向けて！

● 社会福祉法人の公益的な取組レポート ●

津山市社会福祉施設連絡会／子育て応援サポート部会

地域版親子ひろば「すくすく佐良山」

津山市社会福祉施設連絡会の子育て応援サポート部会の活動として、津山市社会福祉協議会が運営している市内4か所の親子ひろばのうち、地域版親子ひろば「すくすく佐良山」へ保育園から保育士を派遣する出前保育を行っています。年数回派遣された保育士が子育ての悩みを聞き相談に乗ることで、安心して子育てができる支援に取り組んでいます。

今号では、社会福祉協議会の親子ひろば担当の延原さんと協力保育園の一つ、津山保育園の保育士さんにお話を伺いました。

すくすく佐良山の様子

夏に大好評のビニールプール

安心して子育てができる支援を。

津山市社協　延原さん

「子育て中のお母さん達は人それぞれ悩みがあります。人に話すことで気持ちが楽になったり、悩んでいるのは私だけじゃないんだ、次の日からの子育ても頑張ろうと思ってほしい。」と話すのは津山市社会福祉協議会の延原裕子さん。

「企画運営に携わるボランティアさんと保育園の先生方と一緒に試行錯誤しながら、どうすれば足を運んでもらえる場所になるかを常に考えています。ボランティアさんの思いも大切にしながら内容をつくり、保育園側にも負担とならないように調整し、「親子ひろば」について知ってもらいながら、子育てに悩む多くの子育て家庭の支援に取り組んでいきます。」

保育園の先生がいるからこそ子育てに悩む親が安心して参加ができる親子ひろばとなっています。

津山保育園　保育士

初めて出前保育で参加させていただいた第一印象は、子どもたちも落ち着いていてとても良い雰囲気だなと思いました。

参加されているお母さん方に話を聞くと、「色んな保育園の保育士さんのお話を聞くことができて、子どもが触ったことがないようなおもちゃもある。お母さん同士で話や交流もできるのでこういう場所があるのはありがたい。」と言われていました。お声がけがあればぜひ今後も保育園として参加したいと思っています。

津山保育園 読み聞かせの様子

津山市社会福祉施設連絡会
市内で社会福祉施設を経営する社会福祉法人・宗教法人で構成（50会員）。他に生活応援部会も設置。

特別養護老人ホームせとうち

ふれあい親子食堂

地域と共に、生きる

●食堂オープンに至るまで

「地域の中で共に生きる」という法人理念のもと、設立当初から様々な取り組みを通して地域とのつながりを深めてきました。そんな中で「子どもだけでなく、親御さんも交流ができ、顔なじみになれるような場があれば…」という声が職員から上がったことが、ふれあい親子食堂開設のきっかけです。

行政との話し合いや学校へのニーズ調査等も行いながら検討を進めていたところ、地域の皆さんからも同様の声が上がっていることを知り、瀬戸内市社会福祉協議会のバックアップもあり、開催に至りました。

●開催時の様子

開催当初は、子どもとお母さんだけの参加が多かったのですが、近所の方が独居高齢者の方に声かけして、一緒に参加されたりと、参加者の顔ぶれが多様化しています。

施設職員と、民生委員や愛育委員等のボランティアを中心に運営していますが、施設入居者やそのご家族に参画していただくこともあります。フードバンクや地元企業の協力も得られるようになり、地域と施設が一丸となって関わっています。

●今後の課題や展望

立地の問題もあり、参加人数が少ない回があります。また、本当に支援が必要と思われる方やご家族の参加がやや遠のいてしまったことも課題と感じています。今後は、法人内で実施している学習教室を同時開催する等、既存の取り組みとも連携させながらの実施も検討しています。参加した子ども達が介護や福祉に関心をもつきっかけになれば…とも考えています。

職員一人ひとりが「私達が入居（利用）したい施設を創ろう」という法人の基本方針を大切に、取り組みへの参画や新たなアイデアの創出にも積極的です。法人として、このような環境を維持しながら今後も色々な取り組みを続けていきたいです。

今回お話をうかがった皆さん

▲広報担当職員
杉山さん

▼施設長
大城さん

▲元職員
（立ち上げメンバー）
髙山さん

お問い合せ先
社会福祉法人藤花会　特別養護老人ホームせとうち
瀬戸内市邑久町福中1180
TEL：0869-22-2006　FAX：0869-22-2828

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、令和３年９月30日現在、ふれあい食堂の開催は休止しています。

養護老人ホーム報恩積善会

ふれあい講座

地域の一員として
互いの手を携え
無理なく続ける

●「ふれあい講座」の取り組み

施設を開設した当時から地域とのつながりを大切にいろいろな取り組みを行ってきています。「ふれあい講座」は家に閉じこもりがちになっている地域のお年寄りが、外に一歩出るきっかけとなるように始めました。法人としても無理のない範囲でできることをやろうと、施設内の地域交流スペースを活用し、2か月に1回というペースで続け2017年6月から3年半も続いています。講師はボランティアの方にお願いしたり、職員が行う回もあります。今回は、約1時間のプログラムで、リズム体操やクラフト制作を取り入れました。

新型コロナウイルス感染症の影響から、一時期ふれあい講座を中止としていましたが、現在は感染症対策を取りながら再開しています。感染のリスクは不安ですが、なんでも中止してしまっては、お年寄りの方の行き場がなくなり孤立につながりかねないと思い、再開することにしました。

●参加者の声

「新型コロナの影響でいろいろなことがなくなり、外に出ることがなくなってしまったので、これだけが楽しみです。」と話をしてくださるのは、講座開設時から利用されている町内にお住いの森田さん。ふれあい講座は、3回行くと施設の昼食を1回無料で食べることができるという特典付きで、これも楽しみの一つだということです。講座に参加するごとに判を押してもらうメンバーズカードがあり、3つ判が付くと、昼食無料券として使える仕組みとなっています。おいしいと評判の昼食は、残念ながら現在は感染防止のため中止されていますが、皆さん、再開を心待ちにされています。

●今後の課題や展望

講座には現場職員にも関わってもらい、施設の利用者さんの支援という枠を越えて、公益的な活動になぜ取り組む必要があるのかということに踏み込んで考えてもらいたいと思っています。

活動に参加することで、やりがいを感じたり、地域のニーズを知ってもらい、社会福祉法人の一員という意識をもって、主体的に動いてもらえるようになると良いと思っています。

3回出席すると
昼食券に!

今回お話をうかがった
事務長の前田さん

参加者の森田さん

コロナ終息の願いを込めて

お問い合せ先

社会福祉法人報恩積善会 養護老人ホーム報恩積善会
岡山市北区津島笹が瀬9番8号
TEL：086-252-0471　FAX：086-252-3044
：http://plus.harenet.ne.jp/~houon/
：https://www.facebook.com/houonsekizenkai
：houon@po.harenet.ne.jp

社会福祉法人の公益的な取組レポート

～ 地域共生社会の実現に向けて！ ～

特別養護老人ホーム高寿園
無償送迎付きサロン「ここ楽!@こうじゅえん」

「ここ楽！@こうじゅえん」（以下、「ここ楽」）では、地域で生活する高齢者の孤独や孤食の解消と楽しみながらできるフレイル予防を目的に、コミュニケーションの場づくりと、その場に行くことが難しい方への移動支援に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、一時活動を休止していましたが、令和2年11月から感染予防対策を十分に行いながら活動を再開しています。

今号では、特別養護老人ホーム高寿園の職員の皆さんに、その取り組みについてお話を伺いました。

「ここ楽」を始められたきっかけについて

元々は、施設のある高倉地域の全戸訪問を実施したときの、「体は元気だけど、出かけるための移動手段がない」、「買い物をすることが不便」という地域の方の声がきっかけでした。移動や買い物を人に頼むのは気兼ねもするし、自分で選んで買い物をしたいので、送迎を高寿園で担い、買い物をおかやまコープさんに協力してもらい、平成30年から、月に2回、無償送迎付き買い物サロン「ここ楽」を始めました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動を休止せざるを得ない状況となりました。「ここ楽」でせっかくできた関係や交流の機会がなくなることは、とても寂しく、活動の再開を望む声もあり、高寿園で何かできないか考えました。高寿園であれば、来訪者専用の交流スペースを確保できる状況でもあり、コロナ禍の状況で直前まで悩みましたが、『誰かがやらないと始まらない！』という思いで、勇気を出して活動を再開することに決めました。それが今の「ここ楽」です。

地域の方の集いの場や交流の機会を高寿園が行うことについて

津山福祉会には、『地域福祉の拠点に』という法人理念があります。高寿園が現在の地域に移転する際、お互い様の地域づくりを発信したり地域住民の集いの場（交流の場）になったりすることができればという想いを持っていました。それが、交流ホールや地域セ

感染対策を十分に徹底しながら
活動をしています

ンターという形になって表れています。

また、集いの場としての施設になるには、ただ待っているだけではなく、地域住民の方のニーズに応えることにより、認識してもらう必要があります。

そのような想いが「ここ楽」の取り組みにつながっています。

「ここ楽」での活動や、もたらす効果について

「ここ楽」では、生活に役立つ講座や体操、アクティビティなどを通して交流を行っています。「ここ楽」に参加することで生活の活性化や、地域との関わりを持つことにつながっています。

また、コロナ禍の鬱々とした状況で、みんなが暗い気持ちになっているからこそ、今は月に一回ですが、「あそこに行けば楽しい」と思ってもらえたら嬉しいです。

地域住民にとっての「ここ楽」、高寿園

「ここ楽」を始めてから、これまで家で過ごすことが多かったけど、活発に活動をするようになった方や、日常で困った時に高寿園を思い浮かべて頼って来られる方が増えました。やはり、日頃から行き来していれば、敷居が低くなり、訪問しやすくなりますよね。

今後の「ここ楽」と課題

コロナ禍の今、送迎時に密にならないように、回数を増やすなど配慮しています。送迎に出ることができる職員が限られているので、送迎の必要な方の受け入れに十分応えられていないことが課題と感じています。現在、運転ボランティアの方と連携して、送迎の一部を担っていただけるよう調整しているところです。

コロナが収束すれば、さらに対象を広げ、回数も増やして、いろいろな世代の人が集まって、入居者さんも一緒に交流ができるようになればいいなと思っています。

また、「ここ楽」をきっかけに、同様の取り組みが、それぞれの身近な地域で広がることを願っています。

今回お話を伺った職員の皆さん

◆お問い合わせ先
社会福祉法人津山福祉会
特別養護老人ホーム高寿園
：津山市下高倉西1581-1
☎：0868-29-0115

社会福祉法人の公益的な取組レポート

～ 地域共生社会の実現に向けて！ ～

誰もが参加できる地区を超えた居場所づくりへ

地域食堂「Dining Minna（ダイニング みんな）」

地域食堂 Dining Minna ダイニング みんな

地域食堂「Dining Minna（ダイニング みんな）」（以下、地域食堂）は、立ち上げから運営まで、地域の有志の方々が主体的に取り組まれており、コロナ禍にもかかわらず、令和2年12月に総社市内の西部地域にオープンしました。

今回は、地域食堂の立ち上げからメンバーの一員として、地域の方々と活動している、社会福祉法人 雪舟福祉会事務長の守安 伸聡さんに地域食堂の開催時の様子や、取り組みの中で大切にされていること、これまでなかった地区を超えたつながりづくりについてお話を伺いました。

今回お話を伺った
社会福祉法人 雪舟福祉会
事務長の守安さん

取り組みを始めたきっかけ

地域食堂をオープンするきっかけとなったのは、「総社市西部地域にこども食堂を作りたい！」という地域の方たちの声からでした。

オープンするまでには、「こども食堂を考える会」を設立し、法人施設の一部を地域の人に開放して、約半年間、地域の方や関係機関の方と話し合いを続けてきました。その後、「ふくしネットそうじゃ（総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会）」や、総社市社会福祉協議会のバックアップもあり、〝子どもからご高齢の方までみんなが参加できる居場所〟を目指して、地域食堂として活動を展開してきました。

毎月第3日曜日に西部地域5地区（神在・秦・久代・山田・新本）に住む地域の方で活動しています。

朝早くからお弁当を作っている様子

コロナ禍でもできること

現在は、新型コロナウイルスの感染症対策を取りながら、テイク

みょうが寿司を取り入れたお弁当

笑顔あふれる地域食堂開催時の様子

アウトでお弁当を販売しています。

今年1月にはじめて開催した時には、わずか1時間足らずで、準備をしていた60食は完売し、お弁当を買いに来られた地域の皆さんからは、多くの笑顔が見られました。

4月に開催した時には、5月のこどもの日にちなんで「みょうが寿司」をお弁当にして販売しました。コロナ禍で生活に困っている方や、人と会う機会が少なくなってしまった方など、いろんな方に季節や文化を楽しみながらお弁当を食べてほしいという想いもあり、地域の方の知恵や季節折々の伝統行事を意識して、メニューを地域の皆さんが一緒に考えて作っています。

いろいろな人がつながる場所

地域食堂では、西部地域に住む、子どもからご高齢の方まで、年齢を問わず、幅広い世代の方が参加して下さっています。

今までは、西部地域の方が、地区を超えて一緒に活動するということは、あまりなかったそうですが、この地域食堂をきっかけに交流することができています。また、「人が関わり、ふれあうことができる場」というコミュニティの一つとして、「ここへ来れば誰かいる」という安心感を持っていただけるよう心掛けています。

今後の展望について

コロナ感染状況が落ち着いてきたら、季節ごとにイベントを開催し、多くの人が一緒に食事をして交流できる場にしていきたいと考えています。

また今後は、地域食堂を西部地域の各地区単位でも開催していくことを話し合っています。総社市西部地域に「誰もが気軽に集まれる居場所」をさらに拡大していき、公益性の高い組織として広く地域に根ざした活動を行っていきたいと思います。

地域食堂「Dining Minna」を
いきいきと運営されている皆さん

◆お問い合わせ先

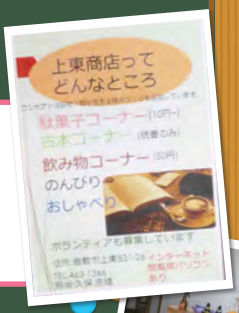
社会福祉法人 雪舟福祉会
シルバーセンターセレーノ総社
🏠：岡山県総社市久代5127
☎：0866-96-0700

社会福祉法人の公益的な取組レポート

～ 地域共生社会の実現に向けて！ ～

～ 子どもたちの居場所 ～

まちのじどう家（か）ん 上東商店



「まちのじどう家ん　上東商店」（以下、上東商店）は、地域の子どもの居場所として、令和２年12月、倉敷市上東地区の住宅地にある一軒家でオープンしました。

上東商店の取組みは、県社協で開催する「おかやま地域カレッジ」の中でプラン化され、法人としての地域公益活動の実践に結び付いたものです。

今回は、上東商店を立ち上げた社会福祉法人 クムレ 就労継続支援Ｂ型事業所クラシスの管理者 久保 巨人さんと、運営に関わる利用者さんに、立ち上げまでのことや、活動の様子などについてお話をお伺いしました。

住宅地にある一軒家に上東商店はあります。

取り組みを始めたきっかけ

「法人が購入した中古の一軒家で、地域の方々のためにできる活動を何か考えられないか？」と、法人から依頼があったことが始まりです。

何をしようかと考えていた時に、県社協で開催する「おかやま地域カレッジ２０２０」（社会福祉法人で取り組もうとしている地域における公益的な取組を具現化する「プラン作成」を行う講座）を受講することになりました。

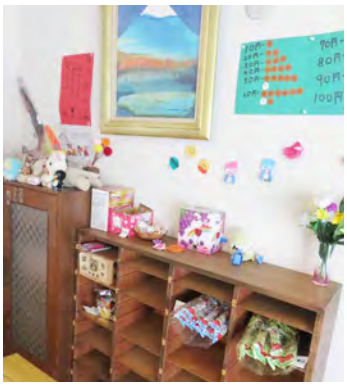
クラシスがある倉敷市上東地区は核家族の多い地域で、小中学生の家庭以外の居場所が少ないのではないかという地域課題を感じていました。昔、自分が子どもの頃によく遊んだ児童館のような安心して過ごせる場があれば、笑顔になれる子どもが一人でも増えるのではないかと思い、講座の中でプラン作成に取り組みました。

受講を通じて、課題は何か、何をしなければならないか整理ができたこと、「福祉が中央ではなく、地域が中央という発想」を知ることができたのは大きいです。

プランを具現化するにあたっては、地域の民生委員さんに力になってもらいました。以前、地域の研修で知り合っていた方だったので、相談してみたところ、一緒に内容を考えてくださいました。法人には、地域の方と一緒に考えた企画としてプレゼンすることで、承認を得やすかったです。

上東商店での取組み

上東商店には、駄菓子コーナーや古本コーナー、みんなで楽しめるようテレビや家庭用ゲーム機、無料のWi-Fi等を設置しています。基本的には、月～金曜日の放課後の時間帯に開放しており、小学生を中心に子どもたちが集まります。



駄菓子コーナー。子どもたちと一緒に料金表も作りました。

家に帰ってきたような気分になる空間です。

スタッフは、法人職員とクラシスの利用者さんが曜日ごとで担当しています。子どもたちの主体性を尊重しながら、一緒にかくれんぼやゲームをしたり、宿題をしたりとそれぞれが好きなことをして過ごす場となっています。

上東商店の運営には、民生委員、愛育委員、地域の方々も関わってくださっています。古本や家具、健康器具など使用できそうなものを持ってきてくださり、部屋の中は充実しています。

上東商店に来る子どもたちには、少し気になる子もいます。不登校児や、学業や家庭の中で課題を抱えている様子の子どもです。ここでは、あえて「○○したら」といった大人からの働きかけを行いません。家や学校に自分の居場所を持ちづらい子にとって、地域の中に安心して過ごせる居場所があっても良いと思うからです。

だからと言って、気になる子のために何もしないわけではありません。学校のスクールカウンセラーと情報交換することもありますし、学業への不安に対して、いつでも応えられるよう、地域に暮らす元教師の方に、事前に協力を得ておくなど準備はしています。元教師の方を紹介してくださったのは地域住民の方で、相談すると適任の方をすぐに見つけてくださいました。つながりから新たなつながりができていく、住民の方のネットワークは大変心強いです。

今後の展望について

開設当初から、地域の民生委員や愛育委員、栄養改善委員等と、「こども食堂」をやりたいという話をしています。今は、コロナ禍なので、一緒に食事をするということが難しいですが、収束したら開催しようと準備は進めています。

いろいろとやってみたいことはあり、例えば、地域の方々と一緒に、地域内の田んぼで収穫されたお米を炊いて、子どもたちと一緒に自分好みの「おむすび」を作って食べるイベントを開催してみたいです。自分で握るおむすびを味わう中で、子どもたちにはお米を作る大変さを知ってもらい、食育につなげていくこともできたら良いと思っています。

福祉を身近に感じる場として

上東商店の運営に携わるクラシスの利用者さんにもお話を伺いました。

「私は、火・木曜を担当し、上東商店に来る子どもたちと一緒に遊んだり、部屋の飾りつけもします。私は子どもたちと過ごすことに慣れているからね！」とのこと。

わからないことに対しては、職員のサポートは必要ですが、彼女は楽しみながら主体的に取り組んでくれています。彼女が上東商店に関わることで、子どもたちには、人とのつながりの中で福祉を身近に感じる場所・機会となり、地域共生社会につながっていってほしいと思います。

クラシスのＳＮＳでは、上東商店のことも含めて、利用者さんが投稿しています。

◆お問い合わせ先

(福)クムレ
就労継続支援Ｂ型事業所クラシス
倉敷市上東827-7
☎：086-463-1366

家に帰ってきたような気分になる空間です。

スタッフは、法人職員とクラシスの利用者さんが曜日ごとで担当しています。子どもたちの主体性を尊重しながら、一緒にかくれんぼやゲームをしたり、宿題をしたりとそれぞれが好きなことをして過ごす場となっています。

上東商店の運営には、民生委員、愛育委員、地域の方々も関わってくださっています。古本や家具、健康器具など使用できそうなものを持ってきてくださり、部屋の中は充実しています。

上東商店に来る子どもたちには、少し気になる子もいます。不登校児や、学業や家庭の中で課題を抱えている様子の子どもです。ここでは、あえて「○○したら」といった大人からの働きかけを行いません。家や学校に自分の居場所を持ちづらい子にとって、地域の中に安心して過ごせる居場所があっても良いと思うからです。

だからと言って、気になる子のために何もしないわけではありません。学校のスクールカウンセラーと情報交換することもありますし、学業への不安に対して、いつでも応えられるよう、地域に暮らす元教師の方に、事前に協力を得ておくなど準備はしています。元教師の方を紹介してくださったのは地域住民の方で、相談すると適任の方をすぐに見つけてくださいました。つながりから新たなつながりができていく、住民の方のネットワークは大変心強いです。

今後の展望について

開設当初から、地域の民生委員や愛育委員、栄養改善委員等と、「こども食堂」をやりたいという話をしています。今は、コロナ禍なので、一緒に食事をするということが難しいですが、収束したら開催しようと準備は進めています。

いろいろとやってみたいことはあり、例えば、地域の方々と一緒に、地域内の田んぼで収穫されたお米を炊いて、子どもたちと一緒に自分好みの「おむすび」を作って食べるイベントを開催してみたいです。自分で握るおむすびを味わう中で、子どもたちにはお米を作る大変さを知ってもらい、食育につなげていくこともできたら良いと思っています。

福祉を身近に感じる場として

上東商店の運営に携わるクラシスの利用者さんにもお話を伺いました。

「私は、火・木曜を担当し、上東商店に来る子どもたちと一緒に遊んだり、部屋の飾りつけもします。私は子どもたちと過ごすことに慣れているからね！」とのこと。

わからないことに対しては、職員のサポートは必要ですが、彼女は楽しみながら主体的に取り組んでくれています。彼女が上東商店に関わることで、子どもたちには、人とのつながりの中で福祉を身近に感じる場所・機会となり、地域共生社会につながっていってほしいと思います。

クラシスのＳＮＳでは、上東商店のことも含めて、利用者さんが投稿しています。

◆お問い合わせ先

(福)クムレ
就労継続支援Ｂ型事業所クラシス
倉敷市上東827-7
☎：086-463-1366

社会福祉法人の公益的な取組レポート

～ 地域共生社会の実現に向けて!～

社会福祉法人　天神会

～地域の人とつながる「出前講座」～

社会福祉法人天神会は、「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」制度（※）において、令和2年度に認証されました。認証基準には、公益的な取組についても含まれており、天神会はより進んだ取組を行っているとして、認証されています。

天神会では、認証を受ける前からさまざまな公益的な取組を行っており、今回は、中でも地域のニーズにこたえる「出前講座」について、職員の皆さんにお話しを伺いました。

※岡山県内の福祉・介護事業所が、人材育成や就業環境の改善など、働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む事業所であることを登録し、その取組内容を見える化する制度。

地域に出向いて講座を実施しています。

取り組みを始めたきっかけ

天神会の法人理念・経営方針に基づき、地域住民参加の支えあい体制づくりを推進する地域連携部会が発足されました。その地域連携部会の中で、「高齢者の社会参加と介護予防の推進」と「地域住民参加の支えあい体制の構築」を図るという方針になり、その取り掛かりとして、まずは転倒予防の啓発を行っていくことになりました。

転倒予防に着目した理由は、高齢者の4人に1人が転倒・転落の経験があり、さらに転倒後に骨折をしてしまうと治癒した後も本人の自立が著しく低下するというデータがあります。そのため、転倒しないための知識を身につけることが、介護予防にもつながると考え、その手段として講座を実施することとなりました。

いざ地域に出向いて、転倒予防のテーマで講座をしようと思ったのですが、法人としてどのように周知するか、開催場所をどうするのか不明瞭でした。そこで、笠岡市社会福祉協議会に相談したところ、笠岡市が実施している「まちづくり出前講座」を紹介してもらいました。平成29年に登録をさせてもらい、地域住民の方の依頼を受け、地域に出向いて講座を実施するようになりました。

「出前講座」の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響で、現在は出前講座の実施はできていませんが、以前は主に、笠岡市内の地域サロン活動を行っている団体からの依頼が多く、年間17回講座を実施させていただいておりました。

また最初は、転倒予防講座のみでしたが、地域住民の方から「他の内容の講座はないの？」という声があり、テーマを増やし、現在は主に6つのテーマで実施しています。テーマについては、可能な限り地域住民の方の要望の多いものを取り上げるようにしています。講座の内容によっては、天神会のリハビリ職や看護職・介護職などの専門職員がそれぞれの専門知識を活かして講座を実施しているので、地域住民の方のニーズに沿った内容の講座を実施することができています。

天神会では、今回紹介した「出前講座」以外にも、フードバンク&フードドライブの取組やおかやまアダプト事業に参加し、職員有志で清掃美化活動を行っています。

また、この他にも、法人内の各施設で地域貢献の活動にも取り組んでいます。例えばコロナ禍以前は、地域の方に施設に来てもらい、利用者との交流会を行ったり、法人内の交流スペースを利用して、地域のお子さんがピアノの発表会を行ったりとさまざまなイベントを実施しています。今後も地域に開かれた法人を目指していきます。

今後の「出前講座」

現在は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施ができていませんが、今後も形を変えて実施をしていきたいと考えています。ただ、職員が地域に出向いて講座をするということは、感染のリスクがあります。日々施設の利用者と接する職員が、施設にウイルスを持ち込まないためにも、地域に出向かなくてもできる方法を考えていく必要があると思います。

「出前講座」の対象者が主に高齢者の方になりますので、単にオンラインを使用して実施をしても、参加をすることが難しいという方も多いのではないかと思います。

現在、ケーブルテレビ局やラジオ局からコーナーとして講座を実施してほしいという依頼も来ているので、今後実施の方法について模索していきます。

認知症や介護のコツなど、豊富なメニューを準備しています。

◆お問い合わせ先
社会福祉法人天神会
：笠岡市神島3628-16
☎：0865-67-4122

市町村域ごとの社会福祉法人等の地域ネットワーク

地域の生活課題の解決に向けては、生活の拠りどころである「地域」を基盤とした人と人とのつながりづくりが大切です。私たちは、市町村域の社会福祉法人等のネットワークを基盤とした、住民の理解や参画のもと地域で解決できる活動や仕組みづくりを推進しています。
社会福祉法人も地域社会の一員として、住民や他の法人とともに地域づくりに取り組んでいます！

矢掛町社会福祉法人連絡会
さくら福祉ネット宿場町やかげ

設立　2020年2月26日

主な取組

- **こども見守り活動**

その他、会員法人からの相談を受け片付けのできていない世帯（ゴミ屋敷）の片付け支援への協力も実施する等、会員法人から提起される課題を共有・協議して進めている。

ささえ愛ネットせとうち
総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会

設立　2020年9月29日

主な取組

- **地域サポート事業部会**

困窮者支援活動、居場所づくり（こども食堂等）に活用するため、フードライブを実施。

- **くらしサポート事業部会**

多世代交流、居場所づくり（こども食堂等）の活動を応援するため備品貸出を実施。貸出を通じて地域のニーズも把握していく。

食料品受け取りのようす

フードドライブの様子

吉備中央町ほっと!コネクション!!
吉備中央町社会福祉法人連絡会

設立　2020年7月30日

主な取組

- **地域貢献パンフレットの作成・配布**

会員法人の持つ貸出備品や相談窓口を紹介。

他、現場職員による情報交換会を実施し、課題やニーズを共有しながら、今後の活動を協議検討中。

和気町社会福祉法人連絡会

設立　2020年9月9日

主な取組

- **基幹事業（連絡会事業）**

災害ボランティアセンターの運営支援（演習参加）

- **提案事業**
(会員からの提案により適宜行う事業)

R3年度には視覚に障害がある方のコロナワクチン接種会場への移動支援を実施。

玉野市社会福祉法人ネットワーク協議会

設立　2021年10月5日

主な取組

・**防災倉庫設置**

身近な地域に資機材を分散配備し、災害時に資機材の貸出支援を行う。平時は災害時における社会福祉法人のネットワーク強化が図られるよう研修会等を実施予定。

取組事業は会員法人からの提案を受け、参加を希望する会員法人によるサービス実施グループを設置し取り組まれる。

防災倉庫写真

勝央町福祉ネット金時

勝央町社会福祉法人連絡会

設立　2022年3月3日

主な取組

・**社会資源等貸出事業**　・**地域活動支援事業**

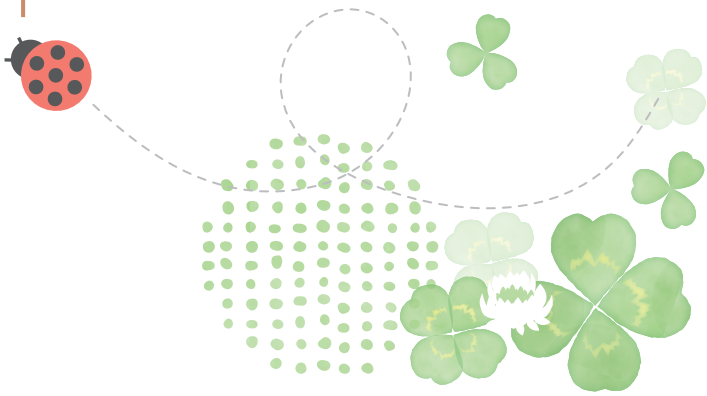
・**各種相談応対事業**　・**生活困窮者支援事業**

・**活動周知事業**　**等の実施に向けて検討協議中。**

ささえ♡福祉ネットワークびぜん（あい）

備前市域における社会福祉法人連絡会

設立　2022年4月予定



市町村域のネットづくり

県内の社会福祉法人ネットワーク設置状況

（県社協把握：令和4年3月時点）

【ネットワーク設置済／ 17 圏域（18 市町村）】

名称	設立日	名称	設立日
●津山市社会福祉施設連絡会 ＊会は以前よりあるが、事業に「地域公益活動に関する取組み」を位置づけた会則の改訂日としている。	H29.10.10*	●まにわささえ愛ネット	H30.8.22
●井原おもいやりネットワーク	H29.2.6	●美作お助け隊	H29.6.1
●ふくしネットそうじゃ	H29.7.1	●浅口市社会福祉法人連絡会「かけはし」	R2.1.31
●笠岡市社会福祉法人連絡会	R1.5.23	●ほっとけんネット早島	R1.11.22
●高梁市社会福祉法人連絡会	H29.4.11	●さくら福祉ネット宿場町やかげ	R2.2.26
●新見市社会福祉法人連絡協議会	R1.7.18	●吉備中央町ほっと！コネクション!!	R2.7.30
●赤磐市社会福祉法人連絡会	H30.5.25	●玉野市社会福祉法人ネットワーク協議会	R3.10.5
●ささえ愛ネットせとうち （瀬戸内市社会福祉法人等地域公益活動推進協議会）	R2.9.29	●勝央町福祉ネット金時	R4.3.3

【社会福祉法人と準備会・情報交換会等　開催】 連携・協働の実践、場づくりの検討を含む

【3 市 1 町】　・岡山市社協・倉敷市社協・備前市社協・美咲町社協

岡山ささえ愛センターについて（岡山県地域公益活動推進センター）

『オール岡山』での取組みに向けて

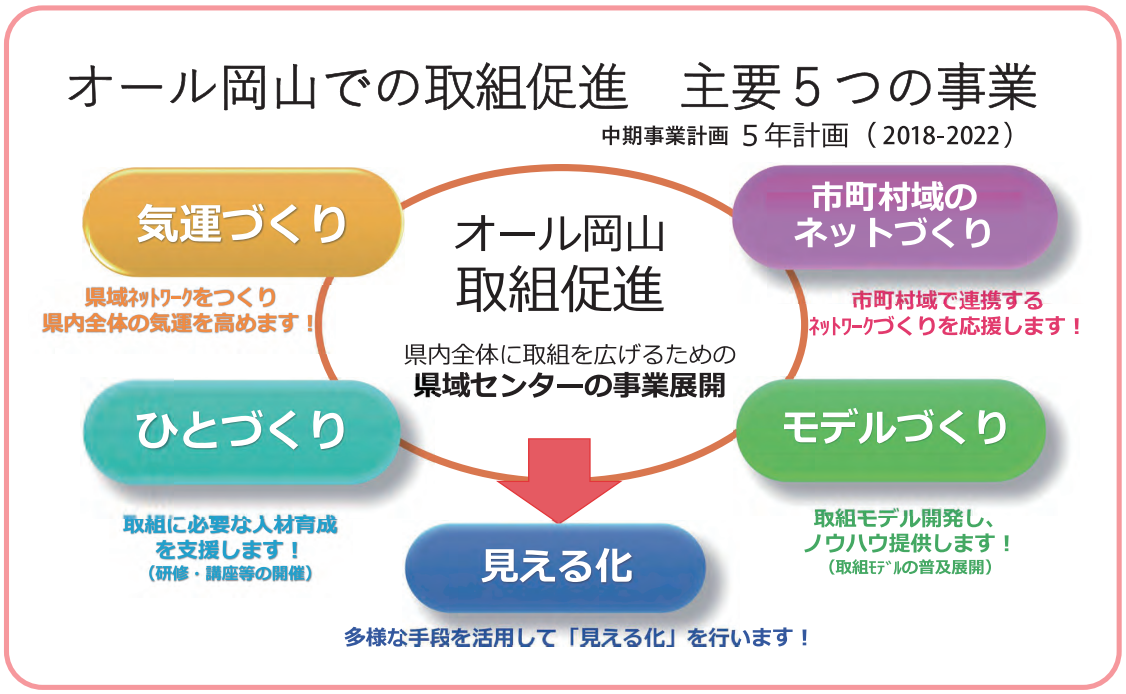
岡山ささえ愛センターは、社会福祉法人が分野や立場を超えてつながり、「オール岡山」で地域公益活動を展開していく全体機運を高めることを目的とした県域の推進組織です。

県内の各種別協議会や社会福祉協議会を構成団体とし、本センターの趣旨に賛同する社会福祉法人により構成しています。

『誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせる地域社会』の実現に向けて

私たちは「制度の狭間の問題」に向き合って、地域のニーズに基づく地域公益活動の仕組みづくりの支援を行ない、各社会福祉法人並びに各市町村域のネットワークによる主体的な取組の創意・発意の輪を広げています。

市町村域で取り組むネットワークづくりの支援を重点（14ページ）として、取組モデル事業や担当職員の人材育成等のサポートに取組んでいます。



【令和３年度モデル指定】

- 真庭市社会福祉法人連絡会
  「まにわささえ愛　ネット」
  ものバンク&ライフパントリー、つながる地域
- 社会福祉法人瀬戸内市社会福祉協議会
  農福連携を基盤としたひきこもり者等の居場所づくり
- 社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会
  くらしき互近助パントリープロジェクト

岡山ささえ愛センター【構成団体】

- 岡山県社会福祉協議会
- 岡山県社会福祉法人経営者協議会
- 岡山県老人福祉施設協議会
- 岡山県障害福祉施設等協議会
- 岡山県保育協議会
- 岡山県児童養護施設等協議会
- 岡山県保護施設協議会
- 岡山県内市町村社会福祉協議会
- 岡山県民生委員児童委員協議会
- 岡山県共同募金会

※会員はホームページをご覧ください。

令和４年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます
ふくしの保険　検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で充実補償をご提供します！

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償（賠償責任保険、動産総合保険等）

❶ 基本補償（賠償・見舞）　保険期間１年

▶保険金額

		基本補償（A型）	見舞費用付補償（B型）
賠償事故	身体賠償（１名・１事故）	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償（１事故）	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中）	200万円	200万円
	うち現金支払限度額（期間中）	20万円	20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失（期間中）	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償（期間中）	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円
	被害者対応費用（１名につき）	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1,5~7万円 通院時 1~3.5万円

新型コロナウイルスを含む特定感染症に新たな補償が追加されました！

NEW 施設の感染症対応費用補償
休業補償から各種対応費用までワイドな安心

❶休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
❷消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
❸感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者　社会福祉法人 全国社会福祉協議会
〈引受幹事保険会社〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店　株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667
受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

（SJ21-12224 から抜粋）

社会福祉法人による地域公益活動事例集　vol.3

【発行年月日】
令和４年３月

【発行者】
岡山ささえ愛センター（岡山県地域公益活動推進センター）
社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
〒700-0807　岡山市北区南方２丁目13－１
TEL 086－226－2835
ホームページ　https://sasaeai.fukushiokayama.or.jp/

【印刷】
株式会社 セイキ

じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金

本冊子は、岡山県共同募金配分金により
作成しています。